

令和6年度 第3回加西市総合政策審議会

次 第

日時：令和6年8月28日（水）午後2時～

場所：加西市民会館 3階 小ホール

開 会

1 委員等出席者の紹介

2 議 事

- ・ 第2回部会 外部評価（2次評価）の実施 ※3部会での検討 … ※評価資料一式

3 その他

閉 会

【次回開催予定】

令和6年度 第4回加西市総合政策審議会

日時：令和6年9月30日（月）14:00～

場所：加西市役所 5階 大会議室

令和6年度 第3回加西市総合政策審議会 出席者名簿

氏 名	団 体 名	役 職	備 考
荒木 努	加西空き家対策専門家協議会（え〜がい加西）	代表	
大野 聖佳	NPO法人ねひめカレッジ（加西市国際交流協会）	ジェネラルリーダー	
岡田 美香	女性農業者	代表	
小川 進	加西市連合PTA	副会長	
金田 敏秀	北条金融協会	会長	
大門 篤志	泉よつばこども園PTA	会長	
谷勝 公代	加西市くらしと生活を守る会	会長	
辻田 聡信	北条conne実行委員会	代表	
中野 重美	加西市スポーツ推進委員会	副委員長	
濱本 泰秀	加西商工会議所	会頭	
樋口 真史	加西市労働者福祉協議会	会長	
松本 壽泰	加西市区長会	富合地区代表区長	
山下 光昭	加西市シニアクラブ連合会	会長	
和田 真理子	兵庫県立大学 国際商経学部	准教授	

（計14名 敬称略 五十音順）

■市担当者（説明員）

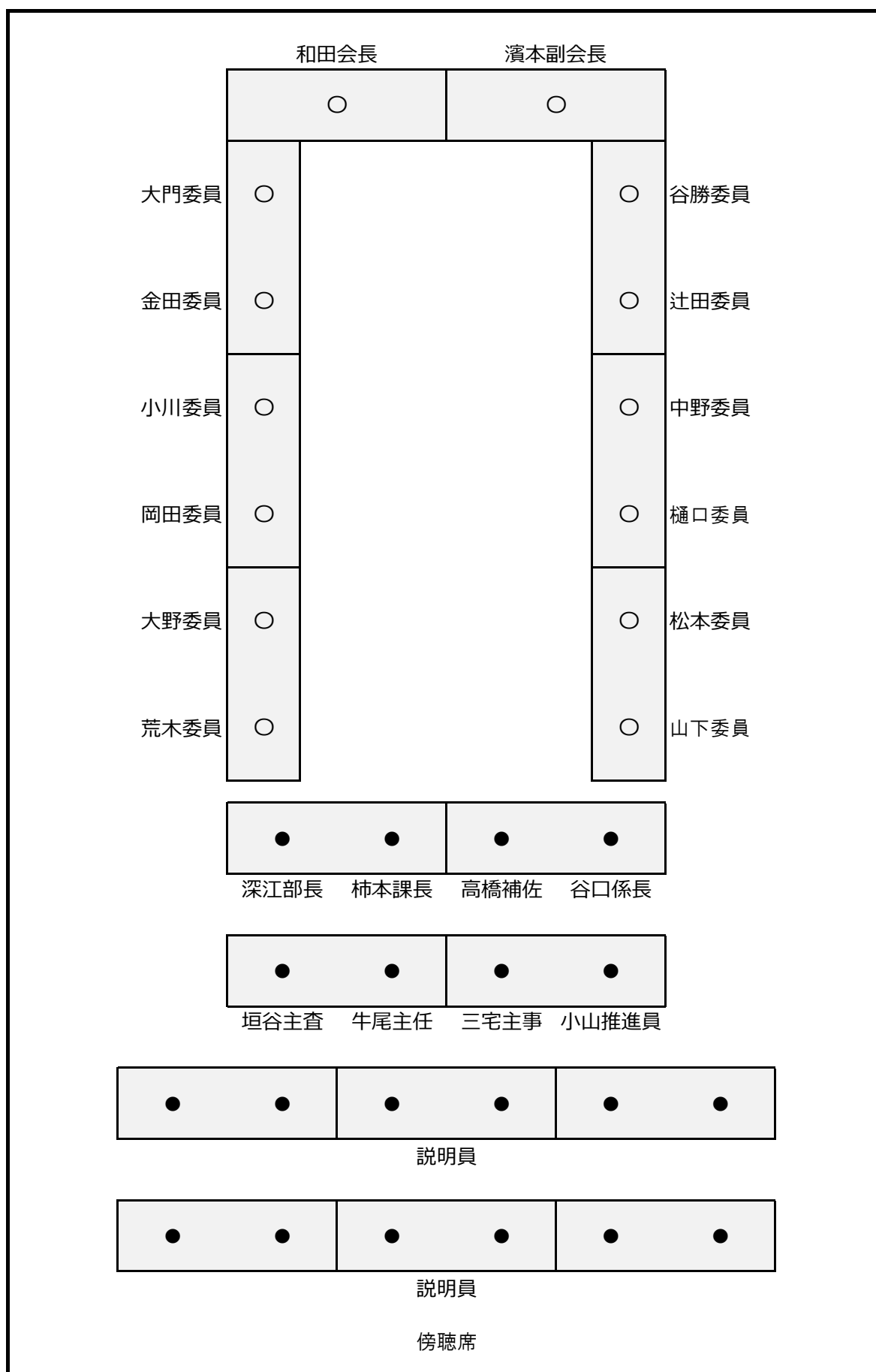
氏 名	所 属 ・ 役 職 名
深江 克尚	政策部長
丸山 常基	地域部長
民輪 清志	総務部長
下山 晴一郎	市民部長
上坂 智津子	福祉部長
藤後 靖	産業部長
石野 隆範	建設部長
伊藤 勝	教育部長
上坂 寿人	市立加西病院事務局長
宮崎 高広	環境部市参事
高見 昭紀	地域部まちづくり課長
阿部 裕彦	地域部観光課長
千石 忠正	産業部産業課長

■事務局

氏 名	所 属 ・ 役 職 名
深江 克尚	政策部長
柿本 尚一	政策部政策課長
高橋 知弘	政策部政策課 課長補佐
谷口 成俊	政策部政策課 係長
垣谷 直宏	政策部政策課 主査
牛尾 充宏	政策部政策課 主任
三宅 里彩	政策部政策課 主事
小山 映	政策部政策課 まちづくり推進員

令和6年度 第3回加西市総合政策審議会 配席図

(加西市民会館 3階 小ホール)

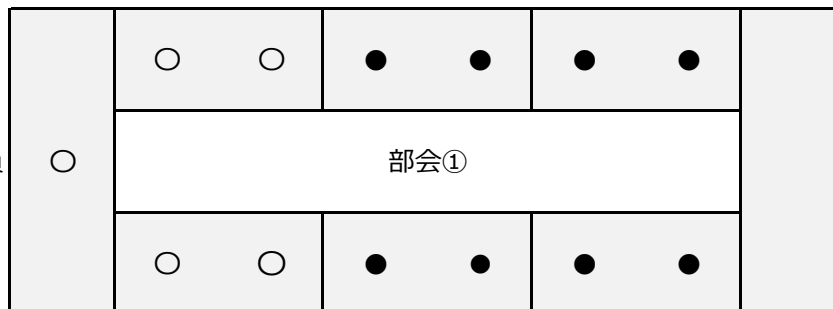


令和6年度 第3回加西市総合政策審議会 部会配席図（市民会館3F）

第1部会（小ホール）

山下委員 小川委員 丸山部長 下山部長 千石課長 小山推進員

大野委員



中野委員 大門委員 上坂部長 伊藤部長 上坂局長 牛尾主任

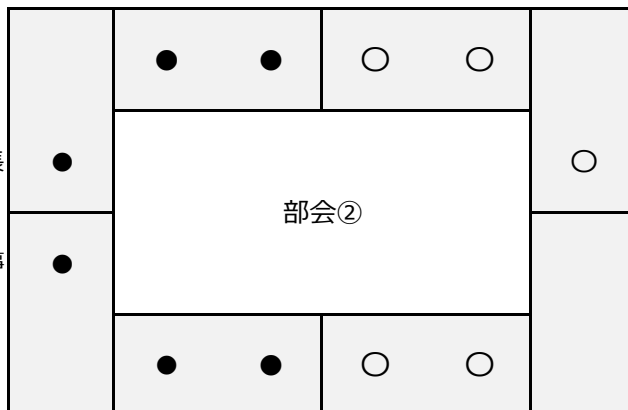
入口

第2部会（談話室）

柿本課長 藤後部長 金田委員 岡田委員

谷口係長

三宅主事



濱本副会長

阿部課長 民輪部長 荒木委員 樋口委員

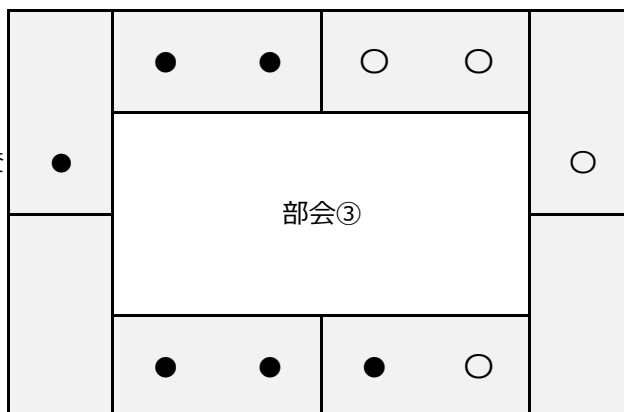
入口

第3部会（研修室）

高見課長 石野部長 松本委員 和田会長

垣谷主査

辻田委員



高橋補佐 宮崎市参事 深江部長 谷勝委員

入口

第6次加西市総合計画 政策評価シート

基本方針・政策・施策										担当部会 1	
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ										
政策	1 新しい家族と出会い、育むための支援の充実										
施策	① 結婚・妊娠・出産支援の充実 ② 地域ぐるみの子育て支援の推進 ③ 子育て環境の充実										
未来の加西の姿											
家族や子どもを持ちたい希望に対し、切れ目ない支援で叶えられるまちを目指します。											
評価検証											
施策	行政内部による評価検証（1次評価）						審議会による外部評価（2次評価）				
① (ア〜ウ) 評価シート 1〜4	■ 出逢いサポートセンター事業 デジタルを活用した相談やお見合い体制の構築等、センターの運営体制の見直しを行ったが、お見合い件数52件、カップル20件と低調となっており、今後は新たな運営体制を本格稼働させ、登録者数を増加に尽力する。 ■ 電子母子手帳の導入 妊娠中の相談支援率が年々増加しており、デジタルを活用し電子手帳を導入することで、母子保健に関連した情報周知やオンラインによる相談の構築など利便性向上に取り組んだ。 ■ 医学生向け奨学金制度を創設 診療科にかかわらず医師全体の確保に向けて奨学生の募集・選考行い、1名の方に奨学金の貸付を実施した。						■ 出逢いサポートセンター事業 ・今の時代にあった情報システムサービスをさらに活用する方法など、出逢いをサポートする新たな試みを推進をお願いする。 ■ 電子母子手帳の導入 ・将来子どもが大人になっても紙の時のように接種記録が読めるのか懸念される。電子化によるメリットを活かすための双方向機能の検討されており、利便性向上などの効果に期待する。 ■ 医学生向け奨学金制度の創設 ・産婦人科医のニーズは間違いなくあり、医師確保は課題である。奨学金制度は加西病院の将来を見据えた取組みとして評価する。				
	総合評価	C…目標をやや下回って達成					総合評価	C…目標をやや下回って達成			
② (ア〜エ) 評価シート 5〜12	■ 子育て世帯への負担軽減 昨年度に引き続き「子育て応援5つの無料化」を継続実施。泉学童保育園の新園舎が7月に完成、定員が30名から70名へと増加し学童保育の受入れ体制の充実を図った。 ■ 養育費確保支援施策を導入 ひとり親の養育費確保を支援するため、公正証書作成費用の助成を開始し、8件支給した。 ■ 子育て応援プロモーション 「子育て応援5つの無料化」を切り口としたWeb広告を展開し、加西市の認知拡大・魅力発信ができた。小学校入学前の未就学児の人口も増加しており若年層の社会増の兆候も見受けられる。						■ 子育て世帯への負担軽減 ・学童保育の受入にかかる空き状況は地域差があり、小学校再編後は統合先の学校で拡充が必要である。6年生までの受入れが可能であるようなら、働いている親に積極的にPRをお願いする。 ・子育てへの経済的支援は充実してきているが、下水道補助の実績からは多子世帯の減少が伺える。安心して3人目が生めるような環境にしていくには、まだまだ課題がある。 ■ 子育て応援プロモーション ・若い人々へのSNSによるPRは、近隣団体の動向も見ながら、さらに努力を継続すべきである。				
	総合評価	B…ほぼ目標を達成					総合評価	B…ほぼ目標を達成			
③ (ア〜ウ) 評価シート 13〜15	■ 未来型児童館整備計画の凍結 市長交代に伴う事業見直しにより、未来型児童館整備計画は中止する。 ■ 保育受け入れ体制の整備 保育士の慢性的な人員不足から、保育教諭就労支援一時金、保育士等緊急確保対策就労支援一時金等の支援を継続実施し保育士確保に取り組んだ。また、小規模保育所2園が新たに開園したことで待機児童が抑制され、利用者サービスの向上に繋がった。 ■ アスモの運営 子育て広場は、市外利用者に増加の傾向であり、全体入場者数は、昨年度比114.2%となった。テレワークセンターは、交流イベント開催等、特色のある運営で利用者増加を目指す。						■ 未来型児童館整備計画の凍結 ・箱ものの整備は維持管理費も考え慎重にすべきで、未来型児童館の中止はやむを得ないが、元々予定していた機能については充実を望む。 ■ 保育受け入れ体制の整備 ・公立と私立の特徴は良くわかるので、それぞれを活かした相互補完できる運営となるようお願いする。 ■ アスモの運営 ・雨の日など遊び場はよく利用されているが、テレワークセンターの利用の方は少ないので工夫を望む。				
	総合評価	C…目標をやや下回って達成					総合評価	B…ほぼ目標を達成			
目標を達成するための主な指標（KPI）											
指標		区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分	
合計特殊出生率		目標		—	—	—	—	1.83	人	単年	
		実績	1.28	0.91	1.11	1.12					
		達成度		50%	61%	61%					
※15〜49歳までの日本人女性の年齢別出生率を合計したもの											
		目標									
		実績									
		達成度									

基本方針・政策・施策										担当部会 1	
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ										
政策	2 子どもの教育の充実										
施策	④ 教育の質の向上 ⑤ 教育環境の充実 ⑥ 地域で子どもを守り、育てる仕組みの充実										
未来の加西の姿											
自ら学び行動する能力を身につけ、子どもの可能性を広げられるまちを目指します。											
評価検証											
施策	行政内部による評価検証（1次評価）						審議会による外部評価（2次評価）				
④ (ア～エ) 評価シート 16～19	■教育の質の向上 SDGs等に関する課題学習を取り入れた外国語教育において、令和5年度は全学校で実施することができた。また、部活動指導員の増員により全中学校で運用し、地域移行や現場ニーズの充足を図った。 ■小・中学校の連携強化 各中学校でコロナ禍前と同程度の交流会を開催することができ、また、小・中教員が相互授業参観や意見交換を行い、指導理念の共通理解が進んだ。 ■ICT教育 英語、算数・数学のデジタル教科書の導入を進め、さらに学習eポータルであるまなびポケットを導入し、デジタル活用による学習支援及び授業改善に取り組んだ。						■ICT教育 ・生徒のPC利用率は低く、授業によって使わないケースもあるとのことだが、教科書とセットになったデジタル教材で、書き込んだり情報共有できることが大切である。 ・宿題についてもデジタルツールを活用するなど、ICT教育をもっと進めるようお願いする。 ■北条高校活性化協議会 ・アフタースクールゼミは生徒の意欲にも関係し、利用が進んでいないところがあるが、国公立大学へは20名進学という面では成果があがっている。学校では探求活動に力をいれており、協議会でも支援している。				
	総合評価	B…ほぼ目標を達成					総合評価	B…ほぼ目標を達成			
⑤ (ア～イ) 評価シート 20～22	■教育環境の整備 学校再編方針により、統合基となる学校については既存施設の統合に向けた改修を計画し、統合される学校については統合までの年数を考慮しながら修繕を行うこととし、令和5年度は、北条東小、宇仁小、加西特別支援学校のエレベータ修繕等の学校環境改善に取り組んだ。 ■小・中学校の再編方針を発表 保護者説明会を実施するとともに、保護者、中学生・高校生を対象にしたアンケートを実施し、タウンミーティングにおいて地域の意見を聞いたうえで、12月に小・中学校の再編方針を発表した。また、1月に地域別説明会を開催した。						■教育環境の整備 ・学校再編の方針について前年度から変更されており、KPIで設定している「改修工事の完了棟数」において、令和6年度以降の目標値としている棟数について見直しが必要ではないか。 ・統合される学校であっても安全確保のため、支障のないように必要な改修は計画的に実施をお願いする。				
	総合評価	B…ほぼ目標を達成					総合評価	B…ほぼ目標を達成			
⑥ (ア～ウ) 評価シート 23～25	■子どもを守り育てる仕組みづくり 令和5年度は、北条中と加西中に校内フリースクールを立ち上げ、不登校生の支援の充実を図った。不登校児童数は増加傾向にあり、いじめや不登校の早期発見・早期対応に努め、適切な支援を行うことが必要である。 ■地域との連携 コロナ5類移行により、参加者を限定することなくオープンスクール・学校評議員会（学校運営協議会）を開催し、土曜学習チャレンジにおいても6小学校区すべてで計画することができたことで、より地域との連携強化を図り、特色ある学校づくりを推進することができた。						■子どもを守り育てる仕組みづくり ・コロナで地域とのつながりが希薄になったところがあるので、修復をお願いする。 ■地域との連携 ・学校評議員会は全国的に学校運営協議会となり地域の方の意見をもっと反映していくことになるが、実現には学校のポリシーが大切になってくると考える。 ・泉小学校への統合を成功事例を作り、賀茂・下里など他への拡大を図っていくモデルにしていく方針であるが、次第に地域の気持ちもかわって行く面があると思われる。				
	総合評価	B…ほぼ目標を達成					総合評価	A…目標を大きく上回って達成			
目標を達成するための主な指標（KPI）											
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分	
全国学力・学習状況調査において全国平均点を上回った教科数		目標		—	—	—	—	3	教科	単年	
		実績	1	3	1	0					
		達成度		100%	33%	0%					
※全国学力・学習状況調査による小学生（国語・算数）、中学生（国語・数学）の4教科のうち、全国平均点を上回った教科数											
児童・生徒用PCの使用率		目標		—	—	—	—	100	%	単年	
		実績	0	49.29	49.9	48.9					
		達成度		49.3%	49.9%	48.9%					
※ 1年間に個人用PCを使用した延児童・生徒数÷（5/1現在の児童・生徒数×登校日数）											

基本方針・政策・施策										担当部会 1	
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ										
政策	3 生涯にわたって学び、楽しめる環境づくり										
施策	⑦ 生涯学習の充実 ⑧ 芸術・スポーツの振興 ⑨ 健康増進の推進										
未来の加西の姿											
生涯、学びやスポーツを楽しみ、日常生活やまちづくりに活かせるまちを目指します。											
評価検証											
施策	行政内部による評価検証（1次評価）					審議会による外部評価（2次評価）					
⑦ (ア～イ) 評価シート 26～27	■ 公民館活動の充実 市民教養講座では、デジタルディバイドの解消を目的に、従来から開講しているスマートフォン講座に加えパソコン教室を開催した。公民館が市民の“居場所”そして“学びのプラットフォーム”となっていくための取組みとして公民館講座ドラフト会議と題し、講座の企画を市民から募集した。 ■ スマート図書館の普及 コロナ5類移行で、イベントの参加定員数を増加させた。また、電子図書館サービスの普及を目的に公民館等において電子図書館説明体験会を開催し、電子図書館など新しい図書館サービスを活用して図書館の活性化を図る。					■ 公民館活動の充実 ・公民館講座ドラフト会議による新たなプログラムの開発に期待する。 ・若い世代・子育て世代は公民館の使用についてわからない方が多いと思われるので、新規利用層の開拓が必要である。 ■ スマート図書館の普及 ・様々なイベント・講座開催など工夫されていて評価できるが、図書館に行かなくても情報が入手できる時代となっているので、図書館の魅力の発信が大事であるとする。 ・他市町村からの利用も増えているようだが、利用の拡大の努力がさらに望む。					
	総合評価	C…目標をやや下回って達成				総合評価	B…ほぼ目標を達成				
⑧ (ア～エ) 評価シート 28～32	■ 芸術・スポーツの振興 アスリートによるスポーツ教室、芸術文化に触れる機会としての文化祭・街角コンサート等を開催した。また、加西南多目的広場グラウンド修繕、加西テニスコート照明交換等の改修を行い、利用者の利便性向上を図るとともに、総合計画に位置づけている総合体育館の整備について庁内で検討を行った。 ■ 播磨風土記事業 こども狂言塾は、新規入塾者が11名あり、また、市内外イベントに4回出演したほか、3月16日に最終公演開催では700人の参加となり、加西能は5月4日に開催し1部・2部で延べ1,150人の参加となった。風土記講座は本講座3回開催し、毎回100人を超える受講があった。なお、当事業は令和6年度より事業見直しにより中止となる。										
	総合評価	B…ほぼ目標を達成				総合評価					
⑨ (ア～エ) 評価シート 33～38	■ 運動ポイント事業 運動ポイント事業参加者は年々増加傾向にあり、本年度は「QRスタンプラリー」イベントを新たに実施するとともに、体組成計を新たに2台設置することで、事業拡充による外出と運動機会の増加を図った。 ■ 特定検診・がん検診勧奨 本年度は、第3期国保特定健康診査等実施計画の最終年度であったが、目標としていた受診率には届かない状況であり、引き続き受診率向上を目指した事業を実施する必要がある。 ■ 食育推進事業 本年度は食育に関する講演会の開催がなかったことからセミナーの参加者数が昨年度より減少したが、栄養教諭等を対象にした各種セミナーに積極的に参加することで、食育推進に必要な知識と技術の習得に努めた。										
	総合評価	C…目標をやや下回って達成				総合評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）											
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分	
加西市立図書館の来館者数		目標		—	—	—	—	22	万人	単年	
		実績	21	17.4	17.6	19.2					
		達成度		79%	80%	87%					
※公共図書館調査による年間来館者数											
文化・スポーツ活動の参加者数		目標		—	—	—	—	270	千人	単年	
		実績	188	141	171	168					
		達成度		52.2%	63.3%	62.2%					
※体育施設・市民会館・公民館の年間利用者											

基本方針・政策・施策										担当部会 1	
基本方針	1 子育てを応援し、暮らしを愉しむ										
政策	4 暮らしを支える福祉・医療の充実										
施策	⑩ 高齢者福祉の推進 ⑪ 障がい福祉・地域福祉の充実 ⑫ 保健・医療体制の確保										
未来の加西の姿											
市民が生涯にわたって、健康で自分らしく暮らすことのできるまちを目指します。											
評価検証											
施策	行政内部による評価検証（1次評価）						審議会による外部評価（2次評価）				
⑩ (ア～イ) 評価シート 39～41	■ 高齢者支援の充実 ICTを活用した認知症見守りサービスについては、令和5年度までに目標としていた170箇所に設置を完了した。BLEタグの周知にも力を入れている。今後はアプリの登録を広報等で周知普及を進める。また、令和5年度より、補聴器購入補助を実施し、高齢者の生活の質向上を図った。 ■ 高齢者の自分らしく過ごせるできるまちづくり シルバー人材センターは高齢者就業確保措置の影響もあり会員数は年々減少傾向ではある。また、きずなカフェやいきいき体操を行うグループについては、コロナ5類移行により増加し、目標値を上回る結果となった。今後ともさらなる活動促進を目指す。										
	総合評価	B…ほぼ目標を達成					総合評価				
⑪ (ア～ウ) 評価シート 42～44	■ 要配慮者の地域生活移行や社会参加の促進 社会参加促進事業については、コロナ5類移行により実施団体が増加している。また、独立型短期入所施設整備事業については、調整に時間を要したためR6年度からの実施へ繰り越しとなった。 ■ 子ども食堂の拡大 子ども食堂の補助額を増額し、利用者を拡大し続けることができている。また、代表者に対して他事業・支援の説明を行い、連携強化が図れた。										
	総合評価	C…目標をやや下回って達成					総合評価				
⑫ (ア～イ) 評価シート 45～48	■ 新病院建設に向けて 現地建替えの計画が移転建設に方針が変更されたため、改めて12月より「新病院に係る基本構想・基本計画検討委員会」を立ち上げ、新病院の方針や医療提供体制などのついて議論を行った。 ■ 医師会・歯科医師会との連携 市民の健康課題等を共有し、健診や予防接種について検討したことで、予定通り保健事業を実施することができたほか、市民が安心して医療を受けられるよう、休日・年末年始の診療体制を整えた。 ■ 医療サービスが適切に受けられる地域医療体制の確保 医療費助成が精神障害者保健福祉手帳3級取得者まで拡大したことが定着してきており、今後も経済負担の軽減や適切に医療を受けられる体制を確保するために継続して事業を実施していく。										
	総合評価	B…ほぼ目標を達成					総合評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）											
指標		区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分	
要介護認定率	目標		—	—	—	—	21.2		%	単年 減少指標	
	実績	20.3	19.4	19.2	19.2						
	達成度		108.5%	109.4%	109.4%						
※認定者数（第1号）÷第1号被保険者数											
市立加西病院への紹介率	目標		—	—	—	—	50		%	単年	
	実績	44	43	33	40						
	達成度		86.0%	66.0%	80.0%						
※受診患者のうち、他の医療機関から紹介されて来院した患者の割合											

基本方針・政策・施策									
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む								担当部会 2
政策	5 農業の再生と活性化								
施策	⑬ 農業従事者の確保と育成 ⑭ 農業経営の支援 ⑮ 農業環境の充実								
未来の加西の姿									
加西の特産品を生産する喜び、やりがいのある農業が展開されるまちを目指します。									
評価検証									
施策	行政内部による評価検証（1次評価）					審議会による外部評価（2次評価）			
⑬ (ア～イ) 評価シート 49～50	■ 農産物の連携・加工品開発 空がつなぐまち・ひとづくり推進協議会の各市町が有する農業資源と加工のマッチングで商品開発を目指す「農産物を通じた連携事業」において資源調査を行った。農業の後継者育成をテーマに加西農業塾を開催した。 ■ 農業従事者の確保 新たに認定した新規就農者は4名（ぶどう、野菜、肉用牛等）となり、国の経営開始資金制度及び経営発展支援、並びに、市の新規就農支援等により、就農促進を図った。女性の農業参画については今後も効果的な取り組みを検討する。					■ 農産物の連携・加工品開発 ・国庫補助事業がメインとなっており、生産者のための事業になっているように思えない。現場の農業者等の意見を聞きながら施策検討をしてもらいたい。 ・ぶどう等の加西ブランド商品の見せ方について、お土産として買いたくなるような共通のロゴやラッピング等で見栄えを工夫してみてもどうか。ものがよくても、見せ方が悪ければ価値が下がるので、商品売り出す時にひと工夫をお願いする。			
	総合評価	B…ほぼ目標を達成				総合評価	B…ほぼ目標を達成		
⑭ (ア～ウ) 評価シート 51～53	■ ぶどう生産推進 特産品生産振興や集落営農組織の資質向上のため、3組織に支援を行った。また、特産の加西ぶどうの産地維持のため棚の新設改修や、大粒系品種への改植推進のため苗木購入補助を行った。加西ゴールデンベリーAの維持及び、ブラックビートやBKシードレスなどの後継ブランドの育成が課題となっている。 ■ 地産地消の推進 市内産農産物を学校給食に提供し、年間195回のうち140回使用された。新たな農業者の確保や営農組合の野菜生産支援についても進めていく必要がある。								
	総合評価	B…ほぼ目標を達成				総合評価			
⑮ (ア～ウ) 評価シート 54～56	■ スマート農業の推進 いちご生産者へ、ひょうご施設園芸産地競争力強化対策事業の助成制度の利用を支援し、また、営農組合が、担い手育成施設整備支援制度により水田の水管理システムを導入されたほか、農業経営スマート化促進事業を活用してICT技術の導入が進んだ。 ■ 有害鳥獣対策の推進 市内全域に広がるイノシシやシカ、アライグマ等の駆除を行いつつ、被害軽減に向けて金網柵や電気柵等を設置する事業を行ったほか、スクミングガイ対策として、薬剤の補助を実施した。								
	総合評価	B…ほぼ目標を達成				総合評価			
目標を達成するための主な指標（KPI）									
指標	区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分
担い手への集積面積	目標		—	—	—	—	1,400	ha	単年
	実績	1,215	1,255	1,255	1,256				
	達成度		89.6%	89.6%	89.7%				
※認定農業者、認定新規就農者、集落営農組織が集積している農地の合計面積									
農地の活用率	目標		—	—	—	—	91	%	単年
	実績	89	87	87	87				
	達成度		95.6%	95.6%	95.6%				
※作付面積÷農地面積									

基本方針・政策・施策										担当部会 2	
基本方針	2 活力とにぎわいのあるまちを育む										
政策	6 商工業の振興と新展開										
施策	⑯ 商工業の振興 ⑰ 創業支援と働く場の拡大 ⑱ 雇用・勤労者福祉の充実										
未来の加西の姿											
商工業の振興により地域経済を活性化し、働きたいと思われるまちを目指します。											
評価検証											
施策	行政内部による評価検証（1次評価）						審議会による外部評価（2次評価）				
⑯ (ア～ウ)	■ 地域通貨「ねっぴ〜Pay」による消費喚起とキャッシュレス決済普及 地域通貨を活用したキャンペーンを実施することで、物価高による消費者負担軽減を図り、地域経済の活性化を促進する。地域通貨加盟店登録事業所数が増加しており、今後、継続して利用金額の増加を目指す。その他、商工業のデジタル化、デジタル決済の普及を目指した取り組みや、省エネ・創エネなどの設備投資の加速を支援した。 ■ 魅力ある商業施設の誘致 産業振興課と都市計画課との連携により北条町東南へ宿泊施設「HOTEL R9 The Yard 加西」の誘致に成功した。引き続き、商業施設・宿泊施設誘致を積極的に実施する。						■ 新産業創出支援事業 ・電波が届きにくい地域があるため、デジタル化を進めるなら社会基盤から整えるべきである。 ■ 地域通貨「ねっぴ〜Pay」による消費喚起とキャッシュレス決済普及 ・チャージできる店に限られていたり、現金チャージのみだったりすると、若い世代は使わない。店側もチャージした現金を商工会議所に持っていき手間がかかるため、そういった負担を補うことでチャージできる店の増加を図ってはどうか。他の決済アプリに比べて店側の手数料が低いのはメリットである。 ■ 魅力ある商業施設の誘致 ・ホテル誘致については、企業から市に打診があった際の対応が良かったので誘致に成功したと考えられる。ビジネスでの宿泊が多いことから、ホテル周辺に飲食店の誘致を進めてもらいたい。				
評価シート 57～60	総合評価 B…ほぼ目標を達成						総合評価 A…目標を大きく上回って達成				
⑰ (ア～エ)	■ 創業支援と働く場の拡大 かさい創業塾やビジネスグランプリなど起業施策を通じて機運が高まり、補助制度への関心が高まっており、起業者が使いやすい制度としていく。また、ビジネスプランコンテストは、参加者同士のコミュニティ形成され交流が進んでいる。 ■ 加西インター産業団地の整備 1期事業については、1-2工区進出企業のリスパック(株)新工場の建築工事が完了した。2期事業について、官民連携事業として事業協力者を1社選定し、官民連携協定を締結した。						■ 創業支援と働く場の拡大 ・ビジネスプランコンテストについて令和5年度の申込が28件となっており、事業開始以来、継続して実施できており、創業者数は前年度より減ったものの目標値を上回っており評価する。 ・創業に向けた取り組みや、雇用創出の目標に対して、産業団地の整備が貢献しているウエイトが大きく、「規制緩和による事業所建築可能用地の拡大面積」の進捗が目標値より進んでいる状況にあることも評価に値する。				
評価シート 61～65	総合評価 B…ほぼ目標を達成						A…目標を大きく上回って達成				
⑱ (ア～ウ)	■ 兵庫労働局との連携 兵庫労働局との雇用対策協定のもと、求職者の就職支援に取り組んでいる。市内外事業所16社の協力のもと北条高校で「地元企業の魅力を学ぶ会」を実施した。また、昨年度から再開した小学生向けの産業観光ツアーを継続実施した。 ■ ICTの活用 JOBフェアを2回のほか、オンライン企業説明会を開催し、企業の採用活動を支援したほか、毎月の就職支援セミナーで、求職者の活動を支援した。						■ 兵庫労働局との連携 ・北条高校からの就職率が低い状況であるが、これまで実施している高校生向けに企業説明だけではなく、都部の大学や、北条高校卒の大学生に対し説明会を実施してはどうか。 ・加西市には優良企業が多いがそれを知らない人が多いので、積極的に情報発信していただきたい。				
評価シート 66～68	総合評価 B…ほぼ目標を達成						総合評価 B…ほぼ目標を達成				
目標を達成するための主な指標（KPI）											
指標		区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分	
製造品出荷額	目標			—	—	—	—	3,900	億円	単年	
	実績	3,321	3,213	2,480	—						
	達成度		82%	64%							
※工業統計調査（2020年調査で終了し、2020年以降「経済構造実態調査」）・経済センサス活動調査											
		目標									
		実績									
		達成度									

基本方針・政策・施策										担当部会 2	
基本方針		2 活力とにぎわいのあるまちを育む									
政策		7 地域資源の活用と人の流れの創出									
施策		⑭ 歴史・文化の再発見と交流拡大 ⑮ 移住・定住の支援 ⑯ 空き家・空き店舗の利活用									
未来の加西の姿											
地域資源を十分に活かし、加西市に訪れたいと感じる魅力あるまちを目指します。											
評価検証											
施策		行政内部による評価検証（1次評価）					審議会による外部評価（2次評価）				
⑭ (ア〜ウ) 評価シート 69〜72	■ 歴史文化遺産を活かす取組 団体への補助を行い、9 団体が地域文化財の修理等の実施を通じて公開や周知活動に取り組んだほか、地域に伝わる民謡の演奏会や天然記念物の講演会開催を通じて伝統芸能の伝承等にも取り組んだ。 ■ 地域資源を活用した観光振興 鶺野フィールドミュージアム歴史遺跡のデジタル保存・コンテンツ化、2Dメタバース構築、鶺野フィールドミュージアムへの看板設置工事等を行ったほか、来場者の安全性の確保のために、鶺野飛行場跡地に現存する戦争遺跡について、構造物の健全性評価を実施した。										
	総合評価	C…目標をやや下回って達成				総合評価					
⑮ (ア〜ウ) 評価シート 73〜76	■ 移住・定住の支援 UJIターン促進補助金、若者定住促進住宅補助事業、新婚世帯向け家賃補助事業等を実施した。新婚世帯向け家賃補助事業は、令和5年度より所得基準を撤廃し、全ての新婚世帯を対象としたことにより、申請数が前年度比1.8倍となり、大きく目標を上回った。加西市への移住・定住の入口となる制度として、政策課、ふるさと振興課が連携しPRを行った。 ■ 移住相談施策の強化 移住相談業務の委託業者と連携し、移住相談やワークショップ等を開催し、移住者や関係人口の増加につなぐことができた。また、市内の空き家を活用し、お試し居住・地域交流カフェなど複合的な機能を有した施設を2施設設置した。										
	総合評価	C…目標をやや下回って達成				総合評価					
⑯ (ア〜ウ) 評価シート 77〜80	■ 空き家対策強化 空き家バンク制度の情報発信を積極的に実施し、その結果、新規登録数は目標を大幅に超えた状態を維持している。また、市内全域の空き家の件数及び分布状況等を把握することを目的として調査を実施した。 ■ 空き家の利活用支援 空き家バンクの成約数は令和4年度に比べ減少したものの、家財道具等処分支お援補助事業は増加しており、空き家の利活用及び移住促進につなげることができた。										
	総合評価	B…ほぼ目標を達成				総合評価					
目標を達成するための主な指標（KPI）											
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分	
観光入込客数	目標		—	—	—	—	—	1,100	千人	単年	
	実績	914	954	1,205	1,162						
	達成度		87%	110%	106%						
※加西SA 利用者数は除く年間客数											
若者の残存定住率	目標		—	—	—	—	—	80	%	単年	
	実績	78	80	83	83						
	達成度		100.0%	103.8%	103.8%						
※ 3月31日現在の26-28歳の人数÷10年前の16-18歳の人数											

基本方針・政策・施策										担当部会 3	
基本方針		3 快適に暮らせる安全な社会をつくる									
政策		8 安全・安心に暮らせる環境の充実									
施策		② 防災・感染症対策の充実 ③ 防犯・交通安全の向上 ④ 市民相談・消費者保護の充実									
未来の加西の姿											
地域と連携・協働した支援体制の構築と強化で、安全・安心に暮らせるまちを目指します。											
評価検証											
施策		行政内部による評価検証（1次評価）						審議会による外部評価（2次評価）			
② (ア～ウ) 評価シート 81～84	■ 防災対策の充実 防災情報を中心に、市の情報、地域の情報を伝達する情報伝達システム「かさいライフナビ」等を整備し、防災ネットとも連携するシステムを構築した。今後、情報伝達システムの導入促進に取り組む。また、自主防災訓練補助の件数が23件と前年度と比較して大幅に増加した。 ■ 新型コロナウイルス感染症対策 5月8日にコロナ5類移行となったが、9月28日まで東4病棟に病床を確保して加東健康福祉事務所と連携して患者を受け入れた。また、コロナワクチン接種体制については、集団接種は実施せず個別接種により実施し、5類移行の予防接種体制が概ね整った。										
	総合評価	B…ほぼ目標を達成					総合評価				
③ (ア～イ) 評価シート 85～87	■ 防犯対策の推進 防犯灯については、令和5年度に421灯を設置するとともに、電柱のない市道繁昌谷郷線に新たに14基設置工事を実施した。防犯カメラ設置については、地元自治会からの要望で12基分の補助を実施するとともに、市内交差点に設置する防犯カメラについては2基設置した。防犯灯、防犯カメラのいずれも経年劣化が危惧されるため保守管理が課題となる。なお、環境課で、不法投棄対策として、移動式防犯カメラを購入し区長の要望に応じてゴミステーション等に設置を行った。 ■ 交通安全の推進 加西市内の中学生891名を対象とした、自転車保険加入事業を実施するとともに、市内企業、高齢者団体、こども園、小中学校において交通安全教室を実施した。通学路危険箇所の点検及び、交通安全啓発看板の設置を行った。										
	総合評価	B…ほぼ目標を達成					総合評価				
④ (ア～イ) 評価シート 88～89	■ 市民相談の充実 市民相談では、市民からの多種多様な相談を受けている。月1回の弁護士相談も実施しているが、毎回予約枠が埋まっており、予約枠の追加等の検討が必要である。 ■ 消費者相談の充実 消費者相談は、公民館と連携することで消費生活センターの周知に努めた。相談件数は、年々減少しており、近隣市町でも同じような傾向が出ており、インターネットの普及などによる自己解決力の向上も考えられる。今後、啓発方法や消費者講座の内容に関する検討を続け、消費者へ働きかけに努める。										
	総合評価	B…ほぼ目標を達成					総合評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）											
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分	
防災訓練・研修回数		目標		—	—	—	—	75	回	単年	
		実績	57	55	56	72					
		達成度		73.3%	74.7%	96.0%					
※自主防災組織（自治会）の延べ年間実施回数											
交通事故発生件数		目標		—	—	—	—	1,300	件	単年 減少指標	
		実績	1,466	1,262	1,272	1,214					
		達成度		102.9%	102.2%	106.6%					
※ 1/1 ～ 12/31 の交通事故件数											

基本方針・政策・施策										担当部会 3	
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる										
政策	9 快適な都市空間の創出										
施策	⑫ 住環境の整備 ⑬ 地球に優しい環境都市の創造										
未来の加西の姿											
良好な住環境や景観等が整い、加西らしいまち並みが形成されたまちを目指します。											
評価検証											
施策	行政内部による評価検証（1次評価）						審議会による外部評価（2次評価）				
⑫ (ア～オ) 評価シート 90～96	■住環境整備 西高室土地区画整理事業はR2年度の事業完了後も、順調に宅地化が進んでいるほか、中野・下宮木地区では、区画道路7号線の工事が完了し、また、上宮木町で計画されている次世代型スマートエコタウン整備事業に合わせて実施する、市道上宮木鶏野線の拡幅工事の測量設計に着手した。 ■歴史的街並みの景観保護 景観形成地区内における建築行為について、景観ガイドラインで定められた景観形成基準への適応に向けた指導、相談を行った。また、前年度に舗装修繕を行った箇所について、1年程度通常使用してから石畳風舗装を行わなければならないため、令和5年度は事業を休止したことより、事業進捗が遅れた。										
	総合評価	C…目標をやや下回って達成									
⑬ (ア～ウ) 評価シート 97～100	■脱炭素のまちかさいの実現 脱炭素を推進するため、蓄電池及び電気自動車等に対する補助を実施するとともに、民生部門の電力消費に伴うCO2排出の実質ゼロを目指し、先行地域内の既存住宅に対する脱炭素化補助を実施した。また、地球温暖化対策等計画策定事業では、国の計画における目標値との整合を図った。 ■環境都市の創造 各学校の環境学習の内容が学校の特色として定着し、さらによりよい学習になるよう取り組んだ。また、市内の全小中学校の児童が網引湿原を訪れ、希少水生動植物の生態にふれ、さらに、小・中学校とともに学校内や地域でのゴミ拾いや掃除等を通して、環境を守り育てる活動に参画した。今後も児童生徒が探究心をもって自分たちで課題を解決していく環境体験学習を推進する。										
	総合評価	B…ほぼ目標を達成									
目標を達成するための主な指標（KPI）											
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分	
住宅の新築件数	目標			—	—	—	—	90	件	単年	
	実績		115	95	106	83					
	達成度			106%	118%	92%					
※市内の一戸建て住宅の単年度の新築件数											
市民一人あたり1日のごみ排出量	目標			—	—	—	—	766	g	単年 減少指標	
	実績		793	811	828	840					
	達成度			94.1%	91.9%	90.3%					
※（ごみの処理量+ 集団回収量）÷ 9月末人口÷年間日数											

基本方針・政策・施策										担当部会 3	
基本方針	3 快適に暮らせる安全な社会をつくる										
政策	10 安全性と利便性が確保された都市基盤の整備										
施策	⑳ 道路・河川の整備・維持管理 ㉑ 上下水道の整備・維持管理 ㉒ 公共交通の充実										
未来の加西の姿											
暮らしの中で快適さを感じることができる生活環境が整ったまちを目指します。											
評価検証											
施策	行政内部による評価検証（1次評価）						審議会による外部評価（2次評価）				
㉑ (ア～ウ) 評価シート 101～103	■道路・河川の整備・維持管理 市道の新設改良、通学路整備、草刈り補助を実施した。地元からの修繕要望に対応するため、年度途中に増額補正により予算措置したことにより、前年度費で大幅に事業費が増加している。今後、優先順位を明確にし計画的に市道の老朽化改善に取り組むとともに、人員の確保を図っていく。 ■公園内の安全管理 丸山公園内のローラー滑り台のローラー交換、ローラー滑り台の木製階段の改修など、遊具の安全性向上を図った。また、公園内の樹木の伐採、景観や安全のための整備を行い、公園施設の安全管理に努めた。						■道路・河川の整備・維持管理 ・KPIの達成度は低いが、人員の問題がある中、道路修繕など予算を計画的に実行している。 ■公園内の安全管理 ・朝妻公園や常吉ふれあい公園など、都市公園でも樹木が伸びているなど剪定が不十分なところが散見される。高齢化により地域での作業も難しいため、一般公園も含め適切に予算を執行し整備していただきたい。 ・公園遊具が古くなっているところがあり、危険に感じる。				
	総合評価	A…目標を大きく上回って達成					総合評価	B…ほぼ目標を達成			
㉒ (ア～イ) 評価シート 104～105	■上水道経営の効率化 市川町からの受水が令和7年度末で終了し、より安価な県水に全面的に切り替わるため、令和8年度以降は低減される見込みである。 ■上下水道の整備・維持管理 水道管の耐震管への更新事業については、寺山配水池幹線(第1工区)における配水管布設工事を実施した。下水統廃合事業については、在田地区南部処理施設の廃止工事及び剣坂地区公共下水道接続工事を実施した。						■上水道経営の効率化 ・1,100戸の未水洗家屋の水水洗化をもっと促進してもらいたい、個人の事情も十分に考慮した上で、順次計画に合せて事業を実施している点は評価できる。				
	総合評価	C…目標をやや下回って達成					総合評価	B…ほぼ目標を達成			
㉓ (ア～ウ) 評価シート 106～108	■公共交通の利便性向上 商業施設や病院などの主要な施設にデジタルサイネージを設置するとともに、「かさいおでかけナビ」のデジタル化及び経路検索機能の追加に向けた公共交通総合HPの開発を開始した。 ■北条鉄道の利用促進 通勤定期券の利用者増加を目指し、地域通貨「ねっぴ～Pay」を用いた通勤定期券購入特典キャンペーンを展開し、新規定期購入者の増加を促進した。 ■地域主体型交通の拡大 地域主体型交通について、宇仁、日吉地区に加え、令和5年7月から富田地区の運行を開始した。また、地域主体型交通導入に係る手引きの時点更新を行ったほか、「運営の手引き」を新たに作成した。						■北条鉄道の利用促進 ・少子高齢化に伴う人口減少社会で、今後は北条鉄道の定期利用者は減少するものと考えられる。昨今の利用者数の増加は観光利用による要因が大きいことから、観光交通としての施策も必要ではないか。 ■公共交通全般 ・公共交通の問題は加西市にとって最大の課題であると思料される。令和4年度に策定した「地域公共交通計画」を広く市民に周知し、将来ビジョンを共有するとともに、市民に当事者意識をもってもらうべきである。 ・高齢者の移動の問題などあるが、加西市が何を目標として施策を実施しているのかわかりにくい。 ・バス停での経費の見える化など、公共交通にどれだけの費用が必要か市民に知ってもらい、意識してもらうことも重要である。 ・施策の実行度としては目標に向かって適切に実施できている。				
	総合評価	A…目標を大きく上回って達成					総合評価	A…目標を大きく上回って達成			
目標を達成するための主な指標（KPI）											
指標		区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分	
道路改良率	目標		—	—	—	—	—	34.8	%	単年	
	実績	34.1	34.6	34.6	34.6						
	達成度		99.4%	99.4%	99.4%						
※規格改良済延長÷実道路延長											
鉄道・コミュニティバス等の利用者数	目標		—	—	—	—	—	420.0	千人	単年	
	実績	365.5	365.4	408.5	418.9						
	達成度		87.0%	97.3%	99.7%						
※北条鉄道、ねっぴ～バス、コミュニティバス（はっぴーバス）、地域主体型交通の年間利用者合計数 ※神姫バス、高速バス、タクシーは除く											

基本方針・政策・施策										担当部会 3		
基本方針		4 ともに活躍しまちの魅力を高める										
政策		11 協創のまちづくりの推進										
施策		⑩ 協創のまちづくり ⑪ シティプロモーションの推進 ⑫ 広報・広聴の充実										
未来の加西の姿												
加西に関わる誰もが主役となって活躍し、元気ににぎわいあるまちを目指します。												
評価検証												
施策		行政内部による評価検証（1次評価）						審議会による外部評価（2次評価）				
⑩ (ア〜ウ) 評価シート 109〜111	■協創のまちづくり 「加西市地域づくり戦略会議」において、ふるさと創造会議の現状と課題の検証や、新規人材の発掘・参画（特に女性）、今後に向けた市の推進方策等について計2回の会議を行った。集落支援員については、当初の目標から進捗が遅れ、昨年度に引き続き2地区設置を維持した。 ■関係人口の創出 中間支援組織である「一般社団法人ユニテ」に委託して、ワンストップ移住相談窓口による移住相談を実施しているほか、都市部住民や、市内で活躍する住民との交流を目的にしたワークショップも開催し、移住人口や関係人口の増加を図った。						■NPO法人・地域活動家の育成 ・加西市には地域活動家が多いと聞けが地域交流センターを活用していない人もいる。市内の活動家をさらに増やしたいのであれば、支援の方法を変えていくか、交流センターを使うことのメリットを見直す必要があるのではないか。 ■関係人口の創出 ・中間支援組織による相談件数の実績はわかるが、実際に移住に繋がった件数が見えない。事業費に対する成果を示してもらいたい。 ・ワークショップや交流会が質的に充実してきているのであれば引き続き取組を進めてもらいたい。 ・人口を増やす、定住者を増やすなどの魅力あるまちづくりを進める中で、事業を外部にアウトソーシングすることに対して市の怠慢を感じる。任せっきりにするのではなく、市が管理監督をし、さらに発展させることを考えるべきである。					
	総合評価 B…ほぼ目標を達成						総合評価 B…ほぼ目標を達成					
⑪ (ア〜ウ) 評価シート 112〜114	■シティプロモーションの推進 令和5年度は、気球車や市内運送会社への市PRラッピングに対し補助を行った。市民が行政と一緒にシティプロモーションを実施することで、より大きな効果が期待できるため、今後も積極的に活用を行っていく。 ■ふるさと納税推進 地場産品基準の厳格化など制度改正により苦戦を強いられたが、返礼品ラインナップの増、ポータルサイトの画像改修、ライブコマース等を実施し、寄付金額を概ね維持（約60億円）することができた。 ■観光資源の発掘 「かさい観光ナビ」でイベント情報やふーど記、喝采みやげの情報発信を行ったほか、加西市観光協会公式LINEを使用してイベント募集を実施した。また、まちあそびの充実により参加者が増加した。						■シティプロモーションの推進 ・シティプロモーションは重要な施策であるため、人や金といった資源をもっと投資すべきである。 ・出張相談会は、東京・大阪以外で神戸でも毎月開催されている。加西市に移住を考えている人は阪神間の人が多いと感じているので神戸にもっと力を入れるべきではないか。 ■ふるさと納税推進 ・移住の出張相談こそアウトソーシングでプロに任せるべきであり、ふるさと納税事務の外部委託は意味がないことである。 ■まちの魅力発掘 ・SNSのフォロワー数は周りも相対的に増えている状況の中で、加西市が他と比べてどの程度伸びているのかの分析が必要ではないか。					
	総合評価 B…ほぼ目標を達成						総合評価 B…ほぼ目標を達成					
⑫ (ア〜ウ) 評価シート 115〜117	■広報・HP・SNSによる情報発信 市内の行事や季節に合わせた写真を表紙に掲載し、地域に密着した伝統行事の魅力を伝える企画を新設するなど、広報紙のリニューアルを実施した。令和5年度県広報コンクールの広報誌部門で企画賞を獲得した。HPやSNS発信については、情報発信力の強化とともに、ホームページの品質向上に努める。 ■タウンミーティングの実施 市内10箇所で年2回にわたり開催したタウンミーティングにおいて、地域の要望や課題を集約した。また、学校編成におけるアンケート調査の結果報告を行った。						■広報・広聴の充実 ・「市長への手紙」は個別の回答だけでは市民はどういった意見が出され、それに対して市長がどう返答したのかわからない。プライバシーに配慮しながらもある程度は公開しなければ他の人への普及活動にはならない。 ■タウンミーティングの実施 ・タウンミーティングは回数を増やしてやっているというが、目的は地域との対話による意見交換の場であるので、現在の市の施策を単にお知らせするような形は本来の目的と異なり、機能しているとは言えない。					
	総合評価 A…目標を大きく上回って達成						総合評価 B…ほぼ目標を達成					
目標を達成するための主な指標（KPI）												
指標		区分	基準値(R円)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分		
まちづくり計画の策定数		目標		—	—	—	—	7	計画	累計		
		実績	4	5	5	5						
		達成度		71%	71%	71%						
※ふるさと創造会議（10地区）におけるまちづくり計画の策定数												
		目標										
		実績										
		達成度										

基本方針・政策・施策										担当部会 1	
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める										
政策	12 お互いを認め、尊重し合える社会の実現										
施策	③ 自分らしく暮らせる地域づくりの推進 ④ 男女共同参画の推進 ⑤ 多文化共生と平和のまちの実現										
未来の加西の姿											
多様な価値観やお互いを認め合い、すべての市民が協力できるまちを目指します。											
評価検証											
施策	行政内部による評価検証（1次評価）						審議会による外部評価（2次評価）				
③ (ア〜ウ) 評価シート 118〜121	■人権文化の推進 人権文化をすすめる市民のつどいでは95%の参加者が「人権問題への関心や理解が深まった」と回答しており、人権意識の醸成を図れた。 ■子ども支援・家庭支援 DVセンター、子ども家庭総合支援拠点において人員確保を行ったが、父子自立支援員が欠員中のため1名が兼務している。専門職が相談支援を行っているが、安定的な確保、育成が課題である。 ■障がい者支援 基幹相談支援センターに相談業務を委託いる。相談件数は減少傾向にあるが、困難ケースの相談が多く、行政及び関係各所と連携して支援していく必要がある。										
	総合評価	B…ほぼ目標を達成					総合評価				
④ (ア〜イ) 評価シート 122〜123	■男女共同参画の推進 3年目の女性リーダー養成「ウィメンズネット加西塾」開催したほか、「加西未来フォーラム」では、市内で起業の女性たちによるパネルトークを開催した。また、令和5年度より、自治会役員女性登用助成金制度を創設し、女性役員登用を推進した。 ■雇用の促進 兵庫労働局との雇用対策協定のもと、求職者の就職支援に取り組むほか、女性向けの就労セミナーを開催し、就労促進に取り組んだ。										
	総合評価	B…ほぼ目標を達成					総合評価				
⑤ (ア〜ウ) 評価シート 124〜126	■多文化共生の推進 ねひめカレッジと連携して、日本語教室、支援者育成、外国人児童の学習サポート、外国人のためのタウンミーティングの実施などの多文化共生事業や国際交流イベントなどを行い、住民交流事業参加者数が585人にのぼった。また北条高校でやさしい日本語教室を実施した。 ■平和ツーリズムの展開 加西市地域活性化拠点施設「soraかさい」では、自主事業としてマルシェ、講演会、ナイトミュージアム等のイベントが実施されたほか、soraかさいと法華口駅間でのピースツーリズムを実施した。その他、体験談の記録、LINE観光パスポートの運用業務を行った。										
	総合評価	B…ほぼ目標を達成					総合評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）											
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分	
人権研修の参加者数	目標			—	—	—	—	3,500	人	単年	
	実績		3,398	2,074	2,272	2,298					
	達成度			59.3%	64.9%	65.7%					
※加西市が実施する人権研修会の参加者数											
女性管理職の登用率	目標			—	—	—	—	20.0	%	単年	
	実績		15.2	13.3	11.8	10.7					
	達成度			66.5%	59.0%	53.5%					
※加西市役所、市立こども園、市立加西病院、市立小・中・特別支援学校、市内企業の女性管理職の割合											

基本方針・政策・施策										担当部会 2	
基本方針	4 ともに活躍しまちの魅力を高める										
政策	13 効率的で持続可能な行財政の推進										
施策	③⑥ 行財政運営の効率化 ③⑦ I C Tの利活用の推進 ③⑧ 広域連携と公民連携の推進										
未来の加西の姿											
計画的な行財政運営と人材の資質向上により、質の高いサービスを提供できるまちを目指します。											
評価検証											
施策	行政内部による評価検証（１次評価）						審議会による外部評価（２次評価）				
③⑥ (ア～オ) 評価シート 127～131	■行政サービスの質の向上 広域への研修参加人数は、目標値を上回ったものの昨年度より減少した。今後、対面式の研修に加え、自席でいつでも受講することが可能なオンライン研修の参加促進に取り組み、研修の参加者の増加を図る。 ■行財政運営の効率化 住民要望に応えるため道路修繕費を増額し、大型建設事業に備えた基金積立等の歳出があったが、安定した市税・地方交付税と、ふるさと納税の受入れが約60億円で維持できたこと等により、基金残高を確保することができた。 ■徴収体制強化 コロナ禍で中止していた臨戸訪問を現年分の滞納者を中心に再開するとともに、悪質な滞納者への差押も昨年を上回る数を実施し、税の公平を保つための徴収体制の強化に努めた。										
	総合評価	B…ほぼ目標を達成					総合評価				
③⑦ (ア～イ) 評価シート 132～134	■ICTの利活用 公文書管理システムの継続運用及び文書のデータ管理への移行を推進したことにより、コピー使用枚数は減少傾向にある。また、議会資料については、引き続きペーパーレス化を推進し、議員に対しては、原則データにより資料提供を行っているが、一部は紙資料と併用している。議員へのタブレット端末導入から１年が経過したが、習熟度に差があるため、引き続きフォローしていく。 ■行政手続きのオンライン化 令和5年3月より住民票等のコンビニ交付が開始しており、令和5年度は通年で3,475枚の発行数となった。今後、マイナンバーカードの普及によりコンビニ交付の利用促進を図る。										
	総合評価	C…目標をやや下回って達成					総合評価				
③⑧ (ア～イ) 評価シート 135～137	■広域連携の推進 北播磨広域定住自立圏では、令和6年度の次期共生ビジョン策定にあたり6つの新規事業を提案し検討を進める。 ■SDGsの推進 加西市のSDG s 推進に協力していただく企業・団体に対し、「SDG s パートナー登録制度」を創設し、28事業者の登録を行った。今後、登録事業者との交流及び連携推進を図り、SDGsの取り組みを広げていく。 ■高校・大学・企業との連携 令和5年度も昨年度に引き続き、神戸大学食資源センターや県立播磨農業高校の農産物を学校給食へ提供したほか、神戸大学と柿の収穫体験を実施した。										
	総合評価	A…目標を大きく上回って達成					総合評価				
目標を達成するための主な指標（KPI）											
指標		区分	基準値(R元)	R3	R4	R5	R6	R7	単位	区分	
経常収支比率		目標		—	—	—	—	92.4	%	単年 減少指標	
		実績	93.8	90.4	94.9	96.8					
		達成度		102%	97%	95%					
※人件費、扶助費、公債費等の経常的な経費に対し、地方税、地方交付税、地方譲与税等の経常的な収入が充当されている比率											
地方債残高		目標		—	—	—	—	426	億円	単年 減少指標	
		実績	411	394	372	356					
		達成度		107.5%	112.7%	116.4%					
※一般会計・特別会計・企業会計の全ての市債の残高											